

# 発言通告書（総括表）

平成26年 第2回 定例会 一般質問

NO	発言者	発言事項	発言要旨	答弁を 求める者
1	中村議員 (ネット)	マンション居住者等の新しい コミュニティを考える時に来 たのではないのでしょうか	○住民の8割以上が集合住宅で暮らし、今後ますますその傾向が強くなる。 ○新しい住民は独自の生活観をもっていて、伝統的なコミュニティ観では括ることができない。 ○各高層マンションと各出張所にコンシェルジュを配置するなど、多様な形態の住民サービスを考えるべきではないか。	区長、副区長 関係部長
2	永田議員 (自民)	消費生活支援について 薬物乱用防止について	消費税増税に伴う消費意欲低下を防ぐ方策、個人商店支援について問う  麻薬、違法ドラッグ等薬物の使用が青少年だけでなく全年齢に広がり犯罪・事故につながっていることを受けて本区での対策を問う	区長及び 関係理事者
3	河合議員 (千代田)	①自治体公会計の整備につ いて  ②自転車保険について	本年5月に総務省より通知された「今後の地方公会計の整備促進について」に於いて、全ての地方公共団体において統一基準による財務書類等を作成するようにとの要請があった。総務省方式改定モデルを採用している本区の課題と対応、それに伴う職員のマネジメントスキル向上について問う。  自転車事故が急増している今日。特別区10区が窓口となって運営している保険事業である「区民交通傷害保険」へ本区も参加し、区民の安全安心をサポートする考えはあるか！区の見解を問う。	区長及び 関係理事者
4	内田議員 (自民)	スポーツ推進の環境づくりに ついて	①「子どもの遊び場事業」の更なる展開 ②公園におけるスポーツ機能の確保 ③低未利用地・低未利用施設の有効利用	区長並びに 関係理事者
5	高澤議員 (千代田)	第三次住宅基本計画について  まちづくりの将来像について	第二次基本計画は、平成16年度より25年度までの計画として「だれもが住みたいと思える魅力ある町」の実現を目的として運用されてきた。基本的な目的は変わらないと思うが、すべての住宅施策の基本となると思われる第三次住宅基本計画の進捗状況について問う  人口推計による住宅計画を含め千代田のまちづくりの将来像について問う	区長及び 関係理事者
6	うさみ議員 (行革ク)	1. 次世代育成手当  2. ホームページについて提 案  3. お堀の水の悪臭について	支給対象について  改訂後も評判は芳しくないが、その解決策について  今年は早くから気温が高く悪臭がひどい。執行機関はそれを認識しているかを問う	区長及び 関係理事者

# 発言通告書（総括表）

平成26年 第2回 定例会 一般質問

NO	発言者	発言事項	発言要旨	答弁を 求める者
7	寺沢議員 (声)	共生社会実現の一步となる「富山型デイサービス」導入について	<p>・対象者を限定せず赤ちゃんからお年寄りまで障がいがあってもなくても一緒にすごせる「富山型デイサービス」は日常生活に近い自然な形である。</p> <p>・6月18日に医療・介護法が成立し、要支援1、2が区の事業となる。千代田区の各地域ごとに「富山型デイサービス」を導入する前向きな検討を始めてはいかがか。</p>	区長並びに 関係理事者
8	岩佐議員 (民主)	<p>1. 2020年東京オリンピック・パラリンピック大会開催後を見据えたまちづくりについて</p> <p>2. 安心して千代田区で子どもを産むことについて</p>	<p>①歴史的建築物活用に関する新しい制度について</p> <p>②ヘリテージマネージャー等、価値ある建物を存続させるしくみについて 他</p> <p>①健診について</p> <p>②不妊治療について 他</p>	区長及び 関係理事者
9	木村議員 (共産)	住まいとまちづくりについて	<p>①若年・中年単身世帯を家賃助成の対象に</p> <p>②高齢者、障害者等が区内で民間住宅を探すことは困難であり、行政支援が不可欠。区内不動産仲介業者と連携し、住宅相談窓口の創設を求める</p> <p>③建築工事、解体工事の騒音、振動対策の強化を</p> <p>④超高層のビル・マンションの建設によってうまれる風害の対策を</p>	区長並びに 関係理事者
10	はやお議員 (千代田)	<p>1. 在宅療養（医療・介護連携）に向けての取組</p> <p>2. 在宅療養（医療・介護連携）と施設介護の方向性</p>	<p>地域包括ケアシステムの要となる在宅療養（医療と介護の連携）の推進に向けての、本区における現状を問う。</p> <p>（1）本区における課題の把握について</p> <p>（2）推進協議会の設置および進捗について</p> <p>（3）在宅チーム医療を担う人材育成と人材確保について</p> <p>居宅介護が在宅療養（医療と介護の連携）へ進む中、施設介護との役割分担を含め、本区の方向性を問う。</p> <p>（1）サービス面について</p> <p>（2）財政面について</p>	区長並びに 関係理事者